

secret base ～君^{きみ}がくれたもの～

「今日^{きょう}の5の2^ご」のED

「あの日^ひ見た花^{はな}の名前^{なまえ}を僕達^{ぼくたち}はまだ知らない。」のED

君^{きみ}と夏^{なつ}の終^おわり 将^{しょう}来^{らい}の夢^{ゆめ}

大^{おお}きな希^き望^{ぼう} 忘^{わす}れない

10^{ねんご}年^{ねん}後^ごの8^{つき}月^{つき}

また出^で会^あえるのを 信^{しん}じて

最^{さい}高^{こう}の思^{おも}い出^でを…

出^で会^あいは ふっとした 瞬^{しゅん}間^{かん} 帰^{かえ}り道^{みち}の交^{こう}差^さ点^{てん}で

声^{こえ}をかけてくれたね 「一^{いっ}緒^{しょ}に帰^{かえ}ろう」

僕^{ぼく}は 照^てれくさそうに カバ^{かお}ンで顔^{かお}を隠^{かく}しながら

本^{ほん}当^{とう}は とて^うも とて^うも 嬉^{うれ}しかったよ

あ^はあ 花^{はな}火^びが夜^よ空^{そら} きれいに咲^さいて ち^ちよっとセツナク

あ^かあ 風^{かぜ}が時^じ間^{かん}ととも^{なが}に 流^{なが}れる

嬉^{うれ}しくって た^たの 楽^{らく}しくって 冒^{ぼう}険^{けん}も いろ^{いろ}いろしたね

二^{ふた}人^{たり}の 秘^ひ密^{みつ}の 基^き地^ちの中^{なか}

君^{きみ}と夏^{なつ}の終^おわり 将^{しょう}来^{らい}の夢^{ゆめ} 大^{おお}きな希^き望^{ぼう} 忘^{わす}れない

10^{ねんご}年^{ねん}後^ごの8^{つき}月^{つき} また出^で会^あえるのを 信^{しん}じて

君^{きみ}が最^{さい}後^ごまで こ^ころから 「あ^さりがと^う」叫^{さけ}んでいたこと

知^しっていたよ

涙^{なみだ}をこらえて 笑^{えが}顔^おでさようなら せ^せつないよね

最^{さい}高^{こう}の思^{おも}い出^でを…

あ^なあ 夏^{なつ}休^{やす}みも あ^{すこ}と少^{すこ}しで 終^{おわ}っちゃうから

あ^{たい}あ 太^{たい}陽^{よう}と月^{つき} 仲^{なか}良^よくして

悲^{かな}しくって 寂^{さみ}しくって 喧^{けん}嘩^かも いろ^{いろ}いろしたね

二^{ふた}人^{たり}の 秘^ひ密^{みつ}の 基^き地^ちの中^{なか}

きみ さいご ころ さいけ
君が最後まで 心から 「ありがとう」 叫んでいたこと
し
知っていたよ
なみだ えがお
涙をこらえて 笑顔でさようなら せつないよね
さいこう おも で
最高の思い出を…

とつぜん てんこう
突然の 転校で どうしようもなく
てがみ か でんわ わす ぼく
手紙 書くよ 電話もするよ 忘れないでね 僕のことを
ふたり きち なか
いつまでも 二人の 基地の中

きみ なつ お はな
君と夏の終わり ずっと話して
ゆうひ み ほし なか
夕日を見てから星を眺め
きみ ほほ なか なみだ わす
君の頬を 流れた涙は ずっと忘れない
きみ さいご おお て ふ
君が最後まで 大きく手を振ってくれたこと
わす
きっと忘れない
ゆめ なか えいえん
だから こうして 夢の中で ずっと永遠に…

きみ なつ お しょうらい ゆめ おお きぼう わす
君と夏の終わり 将来の夢 大きな希望 忘れない
ねんご つき で あ しん
10年後の8月 また出会えるのを 信じて
きみ さいご ころ さいけ
君が最後まで 心から 「ありがとう」 叫んでいたこと
し
知っていたよ
なみだ えがお
涙をこらえて 笑顔でさようなら せつないよね
さいこう おも で
最高の思い出を…

さいこう おも で
最高の思い出を…